

# 平成25年度福井県立高志高等学校スクールプラン

## 校訓 教育方針

克己・創造・敬愛  
国際社会および地域社会のリーダーとして貢献できる知徳体の調和のとれた人材の育成

### 教育目標

- 主体的な学習態度を育て、確かな学力の向上と豊かな教養の育成に努める。
- 生徒一人ひとりの進路実現に向け、丁寧できめ細やかな進路指導に努める。
- 規範意識を高める生徒指導の一層の充実に努める。
- 特別活動を通して、心身ともに健康で活力に満ちた学校生活の推進に努める。
- 学校行事全体を通して、主体的な行動力と豊かな情操の涵養に努める。
- 家庭、地域との連携を密にして、開かれた学校づくりに努める。

### 多忙化解消のための取組

校内 LANの活用や資料の事前配布、各主任による的確な会議運営を行うとともに、各個人が業務の効率化や軽減を図る意識を持つ。

### 人権教育の推進

教員研修等を通して人権の意義・内容や重要性を理解し、教育活動の全体を通じて人権尊重の精神に立った学校づくりを推進する。

## 重 点 目 標

### 1 教育課程・ 学習指導・研修 (教務部)

生徒の主体的な学習態度を育成し、学力の一層の向上を図るとともに、併設型中高一貫教育についての研究と準備に取り組む。

### 2 生徒指導 (生徒指導部)

生徒の規範意識の高揚を目指すとともに、特別活動の一層の充実を図る。

### 3 進路指導 (進路指導部)

生徒の能力や可能性を最大限引き出し、個に応じた適切な進路目標の早期設定および学力向上に努め、進路希望の実現を図る。

### 4 保健管理 教育相談 (保健部)

保健安全教育を推進し、生涯にわたる心身ともに健康で豊かに生きようとする生徒の育成を図り、美化意識や奉仕的精神の向上に努める。

### 5 涉外 安全管理 (庶務部)

保護者と学校との連携および保護者同士の連携を強め、生徒の健全な育成を図る。

### 6 図書指導 (図書部)

生徒の豊かな知識と情操の育成を目指し、図書館活動の充実を図る。

### 7 情報管理 (情報教育部)

情報機器の適切な利用や教科「情報」の授業との連携等を通して、教職員や生徒の情報モラルや情報リテラシーの向上を図る。

### 8 理数科 (理数科)

SSH事業と連携し、将来に向けた科学的手法と夢を育みつつ、ハイレベルな理数の学力を習得する。また、課題学習を支える言語活動を活性化する。

### 9 SSH (SSH事務局)

理数科に加えて普通科においても、積極的に課題解決に取り組む科学技術関係人材の育成を行う。

### 具体的取組

a 新習指導要領のもと新評価規準の作成に取り組み、指導と評価の一体化をすすめる。  
目標：新評価規準の作成に関わる評価指数 80 %

b 学力向上のため、日々から授業についての情報交換や研究を行い、公開授業・研究会等に参加する。  
目標：授業力を向上させるための取組みに参加する割合 80 %。

c 学習サイクル（予習・授業・復習）の徹底を図ることで、授業と家庭学習の連携による、主体的・効率的な学習を促進する。  
目標：教科の特性に応じて、予習・復習に取り組んだ評価指数 80 %

d 併設型中高一貫教育を研究し、附属中学校開設に向けての準備を進める。  
目標：併設型中高一貫教育についての研究と準備を進めている評価指数 80 %以上

### 具体的取組

a 基本的生活習慣の確立を促し、あらゆる教育活動を通して、校則や社会的ルールを遵守する態度を育成する。  
目標：服装等の校則および交通ルールを守る。90 %以上

b 生徒会活動・ホームルーム活動・部活動への積極的参加を促し、主体的に行動する力を養い、リーダーとしての人材の育成に努める。  
目標：学校行事や部活動への参加の評価指数（積極的に取り組んだ割合）80 %以上

c 大学入試問題や模擬試験等の研究と分析から大学が求める学力と生徒の現状を把握し、生徒の進路目標に応じたきめ細やかな指導に努める。  
目標：年間を通して継続的に大学入試問題を解いた教員の割合 90 %以上  
模試等の分析を行い、その後の指導に生かした教員の割合 90 %以上  
国公立大学合格者数 300 人以上  
難関 10 大学+医学部医学科合格者数 50 人以上

### 具体的取組

a 全体および個別指導を通して、各学年に応じた望ましい職業観の育成や適切な進路目標の早期設定を図る。  
目標：生徒一人ひとり、各学年に応じた適切な進路目標を持たせることができた教員の割合 80 %以上

b 清掃指導を徹底し、環境美化への主体的態度を育む。  
目標：生徒の取り組み指数 80 %以上

c 教員研修や面接指導を通して生徒理解を深め、担任、学年会と連携した教育相談体制を充実する。  
目標：生徒への対応の評価指数（積極的に取り組んだ割合）90 %以上

### 具体的取組

a P T A 総会や学級懇談会等を通して、保護者と学校との連携を図る。  
目標：教員の P T A 総会および保護者懇談会対応の評価指数（十分に取り組んだ割合）90 %以上

b 清掃指導を徹底し、環境美化への主体的態度を育む。  
目標：生徒の取り組み指数 80 %以上

c 教員研修や面接指導を通して生徒理解を深め、担任、学年会と連携した教育相談体制を充実する。  
目標：生徒への対応の評価指数（積極的に取り組んだ割合）90 %以上

### 具体的取組

a 広報活動や読書週間等の行事を通して、読書の意義について生徒の理解を促し、読書意欲の向上を図る。  
目標：年間貸出総数 2000 冊以上

b 進路についての意見交換会を開き、保護者同士が話し合える機会を充実する。  
目標：図書館（第 1 ・ 2 閲覧室）を利用して読書や資料閲覧、学習活動を 3 回以上したことがある評価指数 50 %以上

### 具体的取組

a 教職員や生徒に対し、情報モラルや情報セキュリティに関する適切なサポートや指導を行う。  
目標：教員のセキュリティへの適切な対応の評価指数（十分に取り組んだ割合）90 %以上

b 情報機器の充足や管理を適切に行い、教職員や生徒が、積極的かつ的確に情報機器を利用できるようにする。  
目標：情報機器の充足・管理の評価指数（十分に取り組んだ割合）90 %以上

c ホームページを通して、積極的に本校の情報を発信し、保護者・小中学生・地域への広報の充実を図る。  
目標：ホームページの内容に対する満足度の評価指数（十分に取り組んだ割合）80 %以上

### 具体的取組

a SSH連携の行事を通して、科学・技術・理数研究への興味・関心を喚起し、その醸成を図る。  
目標：参加した SSH 行事への生徒の評価指数（有意義・感動を覚えた割合）80 %以上

b 情報機器の充足や管理の評価指数（十分に取り組んだ割合）90 %以上

c 国際交流活動等を通して、情報の活用及び英語でのコミュニケーション能力を高める。  
目標：情報機器の充足・管理の評価指数（十分に取り組んだ割合）90 %以上

### 具体的取組

a 学校設定科目の授業や大学・研究機関・企業等と連携した修活動、海外交流活動および ALT との交流活動等を通して、幅広い視野と科学技術に関する高い関心を育てるとともに、課題解決能力や論理的思考力・情報活用能力・プレゼンテーション能力、実践的英語活用能力の向上を図る。  
目標 1：参加・受講した学校設定科目や SSH 事業に対する生徒の評価指数（有意義だと感じた割合）80 %以上

目標 2：英語運用能力向上に対する評価指数（参加生徒のうち、英語運用能力の向上を実感した割合）80 %以上